

愛育会だより

愛育会活動を振り返り

愛育会会長 岡 祐太

日頃は、愛育会活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、ふれあいキャンプやふれあい登山は残念ながら中止となり、子供たちには残念な思いをさせてしまいました。しかし、日常の授業や運動会、遠足などの学校行事の中で麻生津小学校の児童全員で楽しく良い思い出をつくる事が出来た事と思います。

さて、麻生津小学校でも児童数の減少により複式学級が導入されています。しかし、少人数である事の良さも沢山あります。低学年から高学年までの児童がお互いを理解尊重し、思いやりを持って助け合う大切さを学ぶ事ができる所だと思っています。また、地域の方々との交流では、地域探検や田植えなどの農業体験により、地域の再発見や作物を育てる事の大切さ、大変さを理解する事ができたと思います。

ICTを使った遠隔授業では、オーストラリアの小学校や上名手小学校の児童との交流を行い、さまざまな方々と関わることでたくさんの方を吸収できたと思います。今後も、地域に根ざした特色のある麻生津小学校となるよう願っています。最後になりましたが、今年度、共に愛育会活動をしてくださった役員の皆様、本当にありがとうございます。また、保護者の皆様、地域の皆様、ご指導下さいました校長先生をはじめ先生方に心よりお礼申し上げます。

今後も、麻生津小学校、愛育会と地域の皆様方が手を取り合い、子供たちを見守り、育てていきたいと思えます。新型コロナウイルスが収束し、以前のような日常を取り戻し、皆が明るく

令和3年
3月
発行



く楽しく、笑顔あふれる麻生津小学校、麻生津地区となるようお手伝いしていければと思っております。皆様、本当に有難うございました。

卒業おめでとう

保護者より

長男長女に続き、次男もこの麻生津小学校を卒業する時がやって参りました。長男の入学から数えると、十三年間と言う長い月日を経て、親子共に本当にお世話になりました。

仕事をしながらの父親業は、今振り返ってみると、子供達に十分な事が出来なかつたと申し訳なく思う事が多々あります。

それでも息子は、毎日楽しく学校生活を過ごす事が出来ました。そこにはいつも親身に子供達の事を考え、沢山の愛情を注いで下さった先生方のお陰だと思っております。

子供との会話でも先生への信頼が溢れており、微笑ましく思ったものです。

入学当時、まだ幼く可愛らしかった息子が、いつの間にか母親と同じ背丈になりました。個人として向き合う事が多くなりました。

成長に気づく度に、親としてできる事、してあげるべき事が変わっている事に、嬉しさ半分複雑な気持ちです。親も日々成長ですね。

小学校時代は人生の基盤となる大切な6年間です。多感な時期を恵まれた環境、友人、先生方、地域の皆さんに囲まれて過ごさせて頂いた事に心から感謝しております。

この麻生津小学校で学んだ事を糧に、強さと優しさを備え、いつも感謝の気持ちを忘れずに自分らしく未来へ羽ばたいて行って欲しいと思えます。

卒業生に幸あれ

保護者より

6年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、お子様の卒業を迎え、胸がいっぱいになっていることだと思います。6年前、小さい背中に大きく見えたランドセルも、今となってはとて小さく見えるようになりました。この小さいランドセルの中に収まりきれないほどの思い出を詰めて卒業生たちは次のステージに向かって羽ばたいていきます。

今年度は何を言っても新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点による活動の制限です。小学校生活においても臨時休校やあらゆる活動・事業の縮小・中止が相次ぎ、6年生のみならず在校生や教員の先生方、保護者の皆様においても心が寂しくなる一年になりました。マスクの常時着用、手洗い後の手指消毒、毎朝の検温、教室の常時換気・・・例年にない校内での過ごし方に戸惑いもたくさんあったと思いますが、さすが子供達の順応性は素晴らしく、今となっては当たり前となった習慣となっています。

生徒間の直接的な接触を避ける目的での運動会内の競技変更や時間短縮、登山遠足の中止、修学旅行先の変更、それに卒業式が例年と違うスタイルで行われるなど、6年生としては小学校生活最後の年に思い出を作る大きなイベントが色々変更せざるを得なかつた事を考えると「辛い一年」になったと思います。

しかし、別の面でもこの「麻生津小学校6年生」の時間を忘れることのない思い出に変わるかと思えます。この「辛い一年」は「生涯にわたって心に残る一年」になることに間違いありません。自分たちの周囲の環境が色々変化していく中で順応し対応できたことを自信に変えてほしいと願います。

最後に、この6年間を温かく、そして時に厳しくご指導いただきました先生方、本当にありがとうございました。保護者の皆様、地域の皆様、それに在校生の皆様、大変お世話になりました。卒業生にとって、大切な時間をとても有意義に過ごさせていただいたと思います。

3人にはこの6年間の経験を生かし、次のステージでさらに大きく成長されることを祈念します。

「卒業、おめでとう!!」



仲間、そして夢

保護者より

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

そして、保護者のみなさま、本日は、誠にありがとうございます。

子どもたちを想い、一緒に悩み、喜び、この六年間の中には様々な苦勞と大きな感動があったと思います。

昨年は、コロナ禍で生まれて初めての長期学校一斉休校となり、色々な行事も中止や縮小になるなど変化のあった一年でした。

しかし、そんな中でも、子どもたちが一生懸命、前を向いて頑張っていたなど感じさせられる一年でもあったと思います。

みなさんは、これから中学、高校と進んでいく中で「人生」について考え、悩む事があると思います。

時には、壁にぶつかる事もあるでしょう。そんな時、みなさんを支えてくれるのは、ほかでもない両親や麻生津小学校の仲間です。

中学校に入学しても仲間への感謝を忘れずがんばってください。応援しています。



成長を感じた一年

保護者より

今年度2回目の愛育会役員、初めての複式学級、そしてコロナで始まった一年。色々な不安でスタートした一年でしたが、先生方の工夫や配慮のおかげで無事一年を終えようとしています。一年間で愛育会の参加は最小限になりましたが、運動会や参観で子どもの成長を見れたことを嬉しく思います。

複式学級は、正直不安でした。けんかっ早く、集中しにくい息子なので大丈夫かなと心配でしたが、参観では、子どもの座る位置や授業内容を工夫されていて、集中し頑張っている姿が見られ、すごく安心しました。

そして、なにより驚いたのは、音楽や理科を担当以外の先生が教えてくださっているということでした。音楽では、コロナ禍で歌えないということで、手拍子などでリズムうち、曲を聴いたり、合奏を全校でしたりと子どもにとっては、新鮮で楽しい授業だったようです。理科では、経験豊富な教頭先生の知識をたくさん教えていただき、実験から豆知識、分野違いのことや遊びまで子どもが話す姿を見ているだけで楽しいんだなあとということが伝わってきました。

人数の少ない学校だからできないこともありましたが、人数の少ない学校だからこそできたことがたくさんあった一年だったように思います。色々な部分で子どもの成長を感じた一年。いよいよ高学年！

楽しみと思うだけの簡単なものではないですが、変わっていく次年度を楽しみにしています。



麻生津っ子

保護者より

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、いろいろがまんの多い一年となりました。ふれあいキャンプやふれあい登山も出来ませんでしたし、運動会も制限のある中での実施となりました。しばらく振りにまわってきた役員でしたが、なかなか子供達とふれあう機会もなく、さびしく思っていました。

年末の運動場へ土を入れる作業では、子供達の元気な姿が見られて安心しました。みんなでワイワイ、しんどい作業も楽しんできましたが出来ました。寒い中でしたが、心が温まりました。

その後、数日はひどい筋肉痛に悩まされました。どの子も一生懸命作業し、まわりの子をみながら動いているのがよくわかりました。

末っ子で、家ではわがまま放題のうちの子どもが、学校では、キビキビ動いており目を疑うほどでした。

麻生津小学校では、人数が少ないので学年関係なく、みんなで協力し合い、自分も進んで行動していけないと何も出来ません。いい体験が出来ます。小学生のうちに、自然とそういったことが身につけられるのは、本当にありがたいことだと思います。

うちの子は、決して積極的な方ではありませんが、学級委員にも立候補したと言っています。自分から手を挙げたということがとても価値あると思います。

今、自己肯定力のない子が増えてきていると聞きますが、何事も自分で考え行動出来る麻生津っ子は大丈夫。

これからも自分の行いに自信をもってください。それでも、悩む時、つまづく時はいっぱいあるでしょう。その時は、ここ麻生津小で出来たあれこれ思い出してください。出来た時のスカッとした気持ちを思い出して下さい。

